

秋冬主要露地野菜の生育概況をお知らせします。

注：この生育概況は、気候変動の影響を受けやすい秋冬ものの主要露地野菜について、その生育概況を全国の主要産地の一部について調査したものであります。今後の気象変動等により、大きく変わることがあります。

秋冬露地野菜の生育概況（10月中旬調査分）

（品目：冬キャベツ）

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
千葉県	銚子	964 ha	11月中旬～12月中旬	生育初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 病害虫の発生・大きな天候災害もなく、各産地とも生育順調。	
愛知県	豊橋	1,410 ha	12月上旬～3月上旬	生育終期	生育は平年に比べ7日遅い。 現時点での生育の良否は、平年並み。 スプリンクラーによる水の散布むらにより生育にバラツキが発生している。病害虫は、現在のところない。	部会出荷のものについては、栽培管理記録票に使用農薬及び施肥状況を記帳し、安心安全な農産物を消費者に届けることとしている。

（品目：秋冬だいこん）

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
鹿児島県	十三塚原	87 ha	12月上旬～12月中旬	生育中期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 播種は、8月20日前後から9月下旬が大半であるが、現在も継続的に播種が見られる。 すでに収穫期に入っているだいこんは、生育初期の高温、降雨不足による発芽不良から欠株が見られるが品質は良い。 9月以降播種分については、適度な降雨があり、欠株、病害虫の発生も少なく、また生育ムラもなく良好。	

（品目：冬にんじん）

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
千葉県	八街	520 ha	11月下旬～2月下旬	生育初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 全般的に各産地とも生育順調で、豊作傾向。	全農千葉県本部が推進する「もっと安心農産物」を一部で実施。
茨城県	鹿島	298 ha	11月下旬～2月下旬	生育中期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否はやや良。 発芽良好、病害虫も目立った発生もなかった。	農協が栽培履歴の記帳を推進中。100%の農家が取組んでいる。
愛知県	碧南西尾	346 ha	12月中旬～3月上旬	生育中期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 多雨、台風の影響で播種が5日程遅れた。9月は高温傾向で生育がほぼ回復傾向に近づいたが、高温の影響で割れが目立ち、品質低下が懸念される。 病害虫の発生は少ない。	優秀なF1品種を導入し、秀品率の向上と出荷期の前進が図られている。 栽培履歴については、記帳用紙を全農家に配布し、肥料及び農薬の使用実績を全て記帳し、提出することとしている。 また、出荷直前に全農家が各一点残留農薬検査を受け、残留と不正使用の無いことをチェックし、消費者に安心安全を届けることとしている。

(品目：秋冬ねぎ)

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
埼玉県	妻沼町	315 ha	11月中旬～2月中旬	-	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 7月～8月の降雨から土寄せの遅れが 散見されるが、肥大は順調。 10月の気象条件から作柄は回復。	
千葉県	山武	340 ha	12月中旬～3月中旬	生育初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 干ばつによりやや遅れ気味であったが 病害虫の発生・大きな天候災害もなく 作柄は回復し、各産地とも生育順調。	

(品目：秋冬はくさい)

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
茨城県	常総	898 ha	11月上旬～12月下旬	収穫初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 病害虫の発生は少ない。	農協が栽培履歴の記帳を推進中。 100%の農家が取り組んでいる。
愛知県	豊橋	350 ha	1月上旬～2月下旬	生育初期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 9月は雨が少なく、中旬に播種したものは、発芽が不揃いである。 病気は、白斑病が散見される程度。 害虫の発生は、特にない。	部会出荷のものについては、栽培管理記録票に使用農薬及び施肥状況を記帳し、安心安全な農産物を消費者に届けることとしている。

(品目：冬レタス)

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
茨城県	茨城県西	1,160 ha	11月上旬～11月下旬	生育後期	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、やや良。 病害虫の発生は少ない。	農家が栽培履歴の記帳を推進中。 100%の農家が取り組んでいる。
兵庫県	あわじ島	962 ha	11月中旬～1月中旬	-	平年に比べ5日遅い。 現時点での生育の良否は、やや良。 9月上旬の気温上昇に伴い、害虫の影響が見られたが、その後、気温が下がり、特に問題はない。	土づくり、減化学肥料栽培、減農薬栽培。

秋冬露地野菜の生育概況（10月下旬調査分）

(品目：秋冬だいこん)

県名	産地名	作付面積見込み	出荷最盛期	生育ステージ	生育概況	産地の特徴ある取り組み
宮崎県	串間	8.0 ha	11月下旬～1月下旬	-	生育は平年並み。 現時点での生育の良否は、平年並み。 播種のピークがなかったことから、現状では出荷最盛期を把握できていない。 9月下旬の日照りによる蒔き直し等から10月下旬まで播種予定であるが、11月になる圃場もできる見込み。現在は病害虫の被害も無く生育は良好。	加工用だいこんは千切だいこん・漬物用だいこんの輸入により、価格が低迷し産地面積減少傾向。